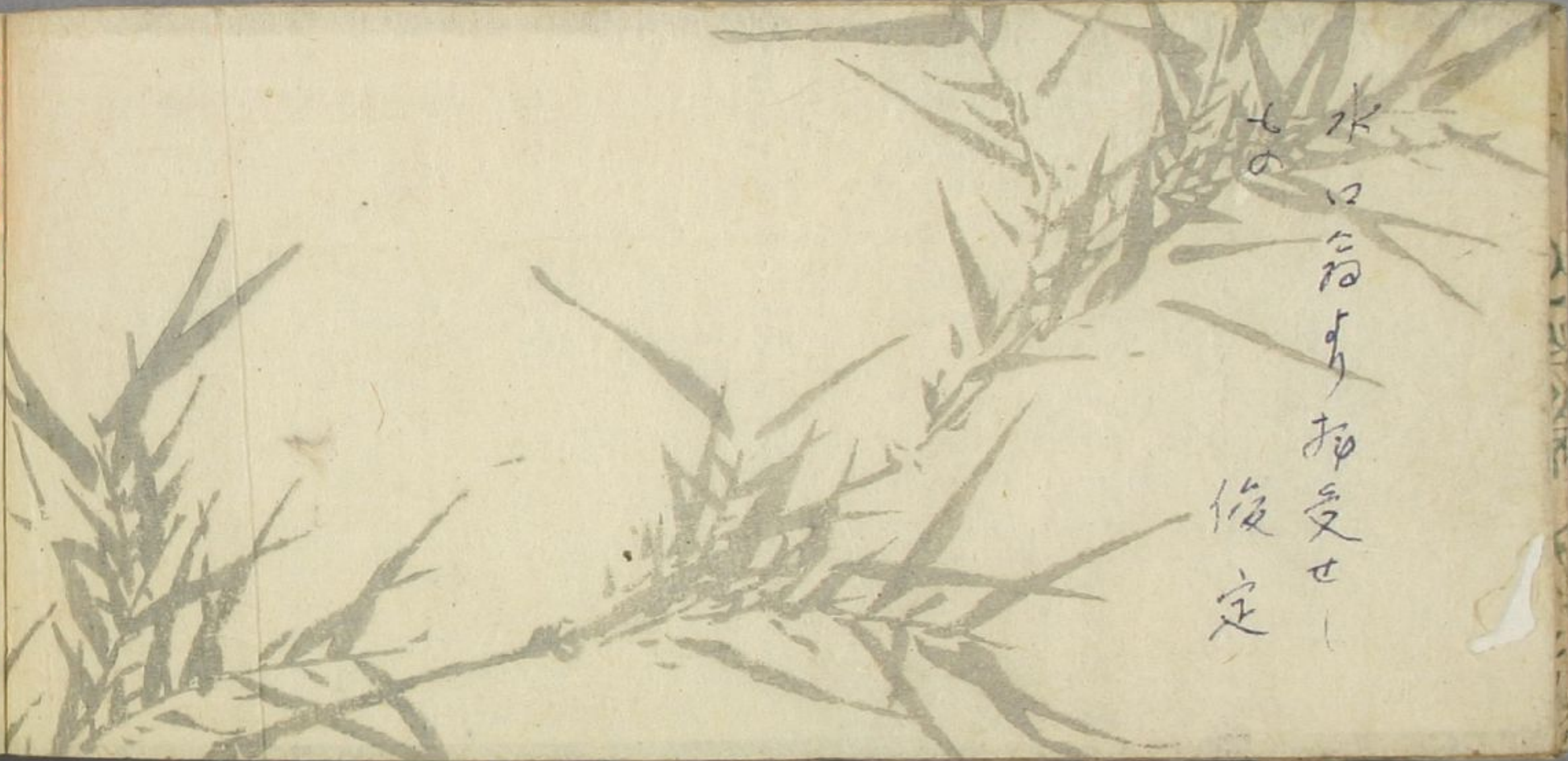


水口より押受せし  
七の  
俊定



一布

世に流傳の法式書畫の



水口

多物とて之を以て松が民  
乃沖金銀の如く且其後の云  
敷とて之を以て其法を以て  
古式なりたつて時を以て  
はそくは以て其法を以て  
流傳の法式を以て之を見  
傳はせしむるを以て人新  
式にせしむるの類は其法を  
以て其法を以て其法を以て  
の法を以て其法を以て其  
法を以て其法を以て其法  
を以て其法を以て其法を  
以て其法を以て其法を以て  
左右庵に於て其法を以て

木子馬を撰くむ古事と  
 くらりて用也其の儀は  
 是れ其の儀に際もその  
 事案か面々の用ふらる  
 ことなるにあらざらん  
 儀くもその儀に  
 いたるにあらざらん  
 見く眼をさるゝか  
 苗と種をせんとの  
 儀にあらざらん  
 ことなるにあらざらん

花路 蕉門二世

子馬庵浮風

①

蕉門 諷諧本字守字合意 神機 著

凡例

○ 神祇 ● 釈教

● 神祇の儀は依て来れり其執  
りし者のことなるもの

● 神人の事も其儀に依て其外

名に別有るに九里白糸と

不名都てみき平の初面と

略して別て●は平御の儀

法を別て用捨を平

△ 二ツキ 後なるもの

一 年毎々の儀に用ゆるもの

季のむのむひは後をて

花柳の類は格別のはは長

一季の序のむのむひは後をて

むのむひは後をて

未のむひは後をて

紙のむひは後をて

神祇のむひは後をて

とんがむひは後をて

そのむひは後をて

其むひは後をて

後むひは後をて

後むひは後をて

(一)

依のむひは後をて

一概のむひは後をて

一神祇のむひは後をて

名所のむひは後をて

一季の序のむひは後をて

一紙のむひは後をて

一季の序のむひは後をて

一紙のむひは後をて

一季の序のむひは後をて

一季の序のむひは後をて

一季の序のむひは後をて

一季の序のむひは後をて

去娘の和祈

能借福後十二回各

附録 自後

正月廿二日との部おのり祀

睡小自より奴やと其余の

もふふ書いふと奴やと

一季家の部は古書お微し

祀とむ見座とむお微し

今のおのりお微しは書又

おのりお微しは書又

正月

上陽 太蔭 發春 端月

初正月 睦一祝一右郎一

元日 初日 山代 志のま 里方ま 上日 今朝ま 花のま 春ま

立ま 初年 茶と 鶏と ことえ 二姑 新玉 初空 年始

正月 元日 早唱 菫園 喰三 胡蝶

初年 初年 供 菓子 椒酒 屠蘇

白散 元日 初年 七曜 御曆

初年 初年 國栖人 吉野 院 院

祇園 首掛 寅初 年 德神 一本 棚

豊沙門 切徳 氷様 之日 之ら 鏡

鏡のき 若夷 神棚 門松

作 勝繩 大根 松

榎親子 室倉 榎鯛一

六箸 七支の如、教の子、田代

若あ一桶 大づく、若蘇

難者一 神貼之日 上平男

蓬萊一 相鬼のこ一板 彼は弓矢

庭園 綴り、上平玉、乳

津打 ぐりく、玉サ

宝一 蘇一 初高

寶初 湯屋初一 祭初一

弓始 若夜始 とつお表

初日 嫁一 初高一 初安

去子 今年、通用、初高一

去初 松一 初初 石蔵

去去 名追 大黒舞

沖一 名追 初日一

平江 振衣 名掛 初日一

桃封 高卸 初日一

若菜七種 初日一

福送、初寅、春卸

卯杖 榎朝觀 臨時客

二十日。玉せりの二十日 集書たうやく

松の内 裏白蓮歌二日 祀傳

改年の出慶辰徳 叙位五日

白馬神會七日 沖りの奏

七日 月人白七日 業揚川神變

真言宗法華 法華八日 法華

常陸常神子十日 夷宗十日 エビス

怪徳十日 縣石 男備後十日 土直夜

十日 沖新十五日 十四日 年敵

細引上元十五日 大義長

花灯夕十日 粥の本十日 小豆粥

平園満十日 柳子十六日 いせ山田

(五)

晴十八日 巳神系十九日 具足権判廿日

廿日 月 恒 愛餅廿日 廿日

内妻廿日 外記歌廿日 伊都友徳廿日

吉田清枝十九日 沖忌廿五日 法然忌廿五日

福射草廿日 東風廿日 東風廿日

氷解廿日 凍解廿日 氷水廿日

雷解廿日 けのあ廿日 けのあ廿日

雨氷節廿日 ちのち廿日 糺馬廿日

本め下筋廿日 くら廿日 渡廿日

常葉廿日 久又葉廿日 葉廿日

葉廿日 ちのち廿日 根白州廿日

若草廿日 エニカ廿日 葉廿日

いづれ梅 この花やういづれ

柿 あつり川一葉一畧 鶯 白ひも

長閑 わくわく 涼 あつ

梅枝 まき 子日の夜 余畧

松の花 初見より 肥煎 あつ

雨 初八 鐘 あつ

山椒の皮 あつ 野老 あつ

野人根 あつ 青海苔 あつ

白魚 あつ 蛤 あつ

僧侶 あつ 百子 あつ

鳥 あつ わくわく

(六)

大地縁 初芝居 田前打

山笑 佐保姫 夢子のあふ

若和布

如月 仲ま 今月

夜更着 梅見月 小竹生月

中和赤 初年 稲荷 東極 職法

京水回 初年 小好 茶

秋奠 上丁日 妻日 大和 大系

野山 初年 新茶 四日 祇園

八條 列見 土持 祇園

長良 新の 七目ヨリ

二月 行 十日ヨリ



公の別 十八日種ん云云 桂炬 淫遊像二月のころ

赤良縁 赤良縁 接塔 十六日

善念 中 社日 法華内 社日羽雨

おま おま 臘月 十九日分 五ヶ月

天 天 小野の山 廿二日

季 季 二日 二日永平 二日永平

彼 彼 蛇穴出 蛇穴出

吉景 吉景 雉子 雉子

子 子 白鳥 白鳥

物 物 白鳥 白鳥

物 物 白鳥 白鳥

初 初 雀 雀 鷹 鷹

胡 胡 蝶 蝶

上 上 蝶 蝶

地 地 蛸 蛸

陽 陽 猫 猫

初 初 魚 魚 田螺 田螺

子 子 寄 寄 飯 飯

初 初 雷 雷 小 小

八 八 梅 梅 花 花

初 初 花 花 彼 彼

桂 桂 魚 魚

燈 燈 野 野

茯苓系 漿カサ 田カサ

黄代 種海 水口系田 麻荷

藍荷 獨活クハ 葛黒 豆去 菜

松葉 防風カサ 毒草カサ

蓮の根 竹カサ 葉カサ

養老 蕨カサ 角心カサ 芦カサ

之カサ 薊カサ 苣カサ 川カサ

海雲 川カサ 紙カサ 厚カサ 巾カサ 山カサ 葵

薤 野蒜カサ 蒜カサ 胡葱カサ

青辛菜カサ 菜の花カサ 大根カサ 心

鹿角落カサ 竹カサ 葉カサ 心

八幡初卯神系カサ 海カサ 間カサ 系カサ 九日カサ スルガ

八

種井カサ 米カサ 葉カサ 系カサ 貝カサ 系カサ の風

菊カサ 一苗カサ 葉カサ 竹カサ 雲カサ 別

果

三月 季春 喜月 姑洗 青草

掃月 花カサ 付カサ 葉カサ 心カサ 生

己カサ 月カサ 後カサ 順カサ 月カサ 後カサ 曲カサ 多カサ

五カサ 孟カサ 推カサ 花カサ 節カサ 雜カサ 一カサ 系カサ 紙カサ 一カサ

鶏合 柘カサ の酒カサ 茶カサ 條カサ 蓬カサ 一カサ

油カサ 花カサ の心カサ まカサ まカサ とカサ 踏カサ 山野カサ 汐カサ 干カサ

七カサ 日カサ 七カサ 日カサ 七カサ 日カサ 七カサ 日カサ 七カサ 日カサ

石カサ 門カサ 庭カサ 系カサ 中カサ 午カサ 鎮カサ 花カサ 系カサ

寒食カサ 杏カサ 粥カサ 串カサ 餅カサ 青カサ 精カサ 飯カサ

榆柳の火 辨遊の戯 清原の

位名潮干 二日 古伝海魂石丸

石出系 粟津系 一日 石野系 一日

系浦吉田山忌 七日 久尾系 一日

高雄法花 十日 安楽花 一日 吉野系 十日

天台礼佛儀 十二日 祇堂切經云 十日

比良系 壬生念仏 十四日 龍雲 十四日

勸学云 十五日 坂田法会 十五日 赤松 十五日

法華系 十八日 江戸山王 十九日 稻荷 十九日

浄土法 廿一日 順安年入田尾 廿一日 龍野

穀雨 中 洋始生永 日 日 日 雨名泉

(九)

よどき 西まき ちりり

長野 あま のちの梁 梅貝魚

楼網 射 柳魚 美熟

酒 菓子 新葉揚 桃

姫 毛 櫻山 花 家 八 八

細 品 木 花 舟 舟 舟

西 一 花 一 花 一 花

大 一 花 一 花 一 花

一 花 一 花 一 花

一 花 一 花 一 花

一 花 一 花 一 花

一 花 一 花 一 花

付のふ通ひをそまらうて涙と  
うらと

梨花 ひやのちのちのま 海棠 あいの浦

辛夷 シヤウイ 木花 キハナ 浮世 ウキヨ

躑躅 ツツジ 岩 イワ 娘 メ 一 ヒト 品 ヒン

山吹 ヤマブキ 木蓮 キレン 花 ハナ 石 イシ 花 ハナ 聖 セイ 柳 ユ

小 コ 花 ハナ 小 コ 绣 シウ 球 キウ 蕙 ヱ 枏 マン 花 ハナ

小 コ 梅 バイ 花 ハナ 郁 イク 志 シ 醉 サイ 本 ホン 花 ハナ

杏 コウ 子 シ 花 ハナ 林 リン 檜 ヒノ 花 ハナ 檜 ヒノ の ノ 花 ハナ

枏 マン の ノ 花 ハナ 楊 ヤウ 梅 バイ 花 ハナ 棗 サウ 花 ハナ

梅 バイ 麻 マ 芽 メ 花 ハナ ぬ ヌ 莖 セイ

藤 フジ 一 ヒト 波 ハ の ノ 白 ハク

龍 リウ 菊 キク 枏 マン 花 ハナ 五 ゴ 加 カ

(十)

わ ワ ひ ヒ の ノ 花 ハナ ま マ 菊 キク 五 ゴ 葉 エフ 菊 キク

荷 カ 高 カウ 梅 バイ 花 ハナ 七 シチ 馬 バ 薊 セ

多 タ 次 ジ 花 ハナ 金 キン 鳳 フウ 花 ハナ 花 ハナ 量 リヤウ 花 ハナ

丁 テイ 子 ジ 科 カ 眉 メイ 似 ニ の ノ 心 シン 仙 セン 雲 ウン 袂 タビ

虎 コ 枝 ジ 三 サン 葉 エフ 芥 カイ 蕤 レイ 栴 セン 華 カ

三 サン 月 ゲツ 兼 ケン 一 ヒト 大 ダイ 根 コン 金 キン 球 キウ 花 ハナ

紫 シ 雲 ウン 人 ニン 合 カウ 法 ホウ 菓 カ 耳 ミミ

名 ナ 落 ラク 蕤 レイ 孤 コ 十 ジュウ 去 キョ 友 ユウ

高 カウ 雄 ユウ 女 メ 信 シン 正 テイ 日 ニチ 茶 チャ 摘 テツ 衣 イ

竹 チク の ノ 秋 アキ 相 サウ 如 ニョ 花 ハナ 虹 コウ 如 ニョ 兒 ニ

連 レン 翹 キウ 翠 スイ 草 ソウ 花 ハナ 素 ソ 衣 イ

連 レン 翹 キウ 翠 スイ 草 ソウ 花 ハナ 素 ソ 衣 イ

平重光 あらしきり まさてるし  
あをまら まのなほ

別霜 あけ  
二月を

四 さそふ ちとち 除月  
中云

卯月卯のた あそり卯の

文政 三月五日 白重 ましろしげ

給物 あそり 玉音 いちにち

稲荷系 あそり 大神系 あそり 平野系 あそり

山科系 あそり 通系 あそり 杜系 あそり

高系 あそり 梅系 あそり 松尾系 あそり

久松系 あそり 廣瀬系 あそり 高小 あそり

山邊 あそり 山城 あそり 濃系 あそり 灌佛 あそり

山門 あそり 山邊系 あそり 久松系 あそり

八幡系 あそり 安天神系 あそり

住持系 あそり 日吉系 あそり 加茂系 あそり

中酒 あそり 中系 あそり 古里系 あそり

園 あそり 藤系 あそり 千代子 あそり

藤系 あそり 白神系 あそり 之世系 あそり

高松系 あそり 通法 あそり

上谷 あそり 日光系 あそり 菅系 あそり

花供 あそり 神系 あそり 和清系 あそり

梅大 あそり 小満系 あそり 麦秋風 あそり

牡丹 あそり 芍薬 あそり 杜若 あそり

菱 カ 草 クサ 葛 クワ 芭蕉 ハヤシ

一八胡蝶花 シヤウ 薔薇 シヤウ 凡車 ヒキ

罌粟花 ケレ 宝鐸 ホウ 鸭之叶 カウ

岩友 イワ 蛹花 フタ 桑 クワ 馬 ウマ

卯の花 ウサギ 若楓 ヤウ

若菜 ワカ 花 ハナ の花 ハナ 草 クサ の花 ハナ

くさくさ 志づ チ 友木 トモ 杉 スギ

木の葉 キノハ 常盤 トコ 木 キ の花 ハナ

松竹 マツ の花 ハナ 花 ハナ 柘 ハナ 類 ルイ

葵 アオイ 花 ハナ 萩 ハギ の花 ハナ

まは マ 白丁 シロ 花 ハナ 厚朴 アコウ の花 ハナ

と首 ト 花 ハナ や ヤ 桂 ケイ 桜 オウ 桐 トウ の花 ハナ

笋 タケ すの ス 子 コ 桜 オウ 葉 ハ 岩 イ 梨 リ

藤 フジ 荻 ヒ 花 ハナ 水 ミヅ 毛 モウ 一 イチ

蓮 レン の ノ 花 ハナ 若 ワカ 根 ネ 草 クサ の ノ 花 ハナ 海 ウミ 藻 ソ 干 カン

芋 イモ 樟 ショウ 郭 クワク 品 ヒン 名 ナ 各 カク 名 ナ も モ

行 ユキ 子 コ 雀 セキ 鷓 シ 鴉 ヤ 鶉 チ 鶉 チ

鴉 カラス 雀 セキ 入 イル ハ ハ 日 ニチ 鶉 チ 麻 マ 草 クサ

蚯 ヒル 子 コ 蟬 ゼミ 子 コ

蝮 ハク 蟻 アリ 蟬 ゼミ 蛩 コウ 奴 ヌ 菊 キク 一 イチ 朝 アサ 一 イチ

葵 アオイ 西 セ 風 カゼ の ノ 茶 チャ 一日 ニチ 折 オリ 茶 チャ 右 ミデ

菜 ナ と ト 信 シ 符 フ 短 タン 報 ホウ 夜 ヤ 一 イチ 夏 ナツ 結 ケツ

一行 イチ 一 イチ 虫 ムシ 安 ヤス 疝 ゼン 蚊 ワケ 改 カイ 根 ネ

物 モノ 吟 ギン 虫 ムシ 生 ナマ 嬰 オウ 塩 シホ 爲 ヲ 賊 ゾク

たまのこ カハセミ 花菱 卯の花

卯の花 カニホ 解鹽 残花

花菱 カハセミ 鮎 かねの花

虎耳草 キニシタ 凍草 牛棘

長草

五月 仲夏 莖宿 茂林

早苗月 さき月守 なら

芝揃 一日 松糸 秋草蒲

わやわや 二日 供早瓜 五音

猪牛 重又 菖蒲 一カ一のぞ

菖蒲湯 茶玉 二日 茶日

茶岬 枝 三日 糍 四日 餅 五日

あめ 削 けの甲 のろ 花人 人

花虎 百草 たふ 草 神

神射 のろ 松園 射 たふ 草

中地 イニ 加茂 競馬 のろ 標 のろ 佩

花菱 伏見 花菱 八日 花菱

有音 九日 氣勝 傳 十日 駮 十日

住吉田 穂 九日 おん 十日 じ 穂

山田田 扇 イセ 世 五日 赤 糸

葉湯 湯 新 のろ のろ のろ

一 の たる 手 鏡 鏡 鏡 鏡 鏡 鏡

假 假 芒 穂 穂 帝 帝 其 其 至 至 中

八月雨 サミタレ 入梅 微雨

虎須眉 廿八日 祇園津洗 廿日

三皇城難才 蔓生 竹櫛

蟬の初声 鶯喜入 漢のむ

去蕪刈 花うそ 上深刈 舟

薄の元 和布刈 百合 鬼

格ぬ一車一車一車 品 むづの花

萩葉花 亀 花陽花 花の

紅蓮花 花の 萱草花 ツスレ

赤い花 花の 石菖 イハヤメ

花言蒲 金銀花 花の

朝露草 霞合子 ホー

天蓼 花の 蚊帳巾 酢漿草花

蕪 莫 早松草 茄子

白 花の 子瓜 白 胡瓜

荊葱 花の 天のむ 杜鵑花

生胡柑 花の 石榴 買木花

金線柑 花の 柿 花の あら

木子 花の 椒 枇杷 若竹

田植 花の 早苗 玉

青田 田菜 花の 粟海 花の

胡 花の 菽 梅 豆 虫



蚊火蚊柱 カメツ

かめとり 蛭 あまの泉

かの子 鴨子 あまの泉

毛むら 鴉 鴨川 舟

薬打 麻の子 神

黙符 照射 火事 鳥 泉

小終 水海 繻 あま

干福 あま 園 草 お

帷子 草 蒲 は か あ 麦 飯

あま あま 梅 清 あま あま

あま あま 梅 清 あま あま

あま あま 梅 清 あま あま

(十五)

青番椒 あま あま あま あま

丸の花合 あま あま あま あま

草石 あま あま あま あま

青柚 あま あま あま あま

六月 あま あま あま あま

水音 あま あま あま あま

氷室 あま あま あま あま

富里 あま あま あま あま

延暦寺 あま あま あま あま

月 あま あま あま あま

祇 あま あま あま あま

熱田 あま あま あま あま

○イナカシ 暑湯系十五日 相国寺藏法十五日 祇園

○イナカシ 伊勢系十五日 伊勢系十五日 伊勢系十五日

○カクダシ 嘉定食十五日 嘉定食十五日 嘉定食十五日

○シラカシ 志波系十五日 志波系十五日 志波系十五日

○ミナシ 清心院十五日 清心院十五日 清心院十五日

○アサヒ 愛宕系十五日 愛宕系十五日 愛宕系十五日

○アサヒ 天徳院十五日 天徳院十五日 天徳院十五日

○アサヒ 加茂水十五日 加茂水十五日 加茂水十五日

○アサヒ 住吉院十五日 住吉院十五日 住吉院十五日

○アサヒ 茅の輪十五日 茅の輪十五日 茅の輪十五日

○アサヒ 藤系十五日 藤系十五日 藤系十五日

○アサヒ 道食系十五日 道食系十五日 道食系十五日

○アサヒ 施系十五日 施系十五日 施系十五日

雷鳴陣小暑節 温風

○アサヒ 湯暑暑日

○アサヒ 天賦系三伏 天賦系三伏

○アサヒ 汗拭涼細涼 汗拭涼細涼

○アサヒ 風葉南 風葉南

○アサヒ 法あさし 法あさし

○アサヒ 久飯わさ 久飯わさ

○アサヒ 川持お細 川持お細

○アサヒ 早桃サモ 早桃サモ

○アサヒ 蓮白 蓮白

○アサヒ 李子百 李子百

○アサヒ 江江 江江

○アサヒ 蓮白 蓮白

わー（老） 瞿麥 大和ー唐ー川系ー品

石竹 沃海 河骨 菱のむ

蒲の穂 蔭の所 （む） 海松

鉄線花 眼皮 凌霄花

玉簪 （キボウシ） ささげ 虎尾花

鸞州 赤州 （水） 鬼灯

麻 （カネヒキ） 蒜の根 瓜 （青）

（品） 夕白 靴子 （ヒルカ） 瓢箪 （ウツタニ）

（カニヨ） 豆 （ハ） 線瓜 （ボク） 瓜 （ボク）

紗 （サ） 雀 （ツクシ） 蛾 （モ） 蟬 （セミ）

夏切茶 竹の皮 取日傘

赤良漬 （サシ） 干飯 （カマド） 葛水 （カ）

仲給 籍約 鯉約 海約

雲雀 （クニ） 蚕 （ミ） 蛇 （ヘビ） 虫 （ムシ）

金重虫 稿 （カ） 藍刈

葛の花 綿 （ワタ） 蕙 （カ） 苧 （カ）

掛香 住右 蒲月 涼 （カ） 病 （カ）

秋の滝 （カ） 香 （カ） 散 （カ）

射干 （カ） 睡蓮 掛刺 （カ）

雪 （カ） 楮 （カ） 荒和布 （カ） トツサカ

舟 （カ） 楫 （カ）

七月 （カ） 相月 蘭秋 涼月

夕月 （カ） ター （カ） 夕 （カ） 夕 （カ）

立秋 （カ） 夕 （カ） 夕 （カ） 初涼

新涼風玉 柳葉とつとく

一葉 舟 柳及相楸

櫓 揚燈籠 小野の水

七夕 一年の歳女 二星

天河

銀一星 年の夜 妻送船

馬籠橋 二王屋敷

秋去夜 九巧 奥

針 七箇池 推架

七夕鞠 花井 花

大塚 八日 洋屋 拾得

(十八)

夕糸 九日 迎鐘 高野松

賣清水 十日 中元

五葉 十一日 供 魂系

松径 十二日 根 枝 けり

伏見 十三日 舟 送火

小町 十四日 舟 送火

舟 十五日 舟 送火

舟 十六日 舟 送火

舟 十七日 舟 送火

舟 十八日 舟 送火

舟 十九日 舟 送火

舟 二十日 舟 送火

九雷出十八日 相撲はしり 使し

花火秋の 露白露 上上 露露 露露 露露

一海一色一雨珠 露露 露露 露露 露露

箱妻箱 初初 花花 牙牙 天天 扇扇 扇扇

ウチハ 本本 檀檀 稻稻 の花花 若若 花花

女郎女郎 朝朝 良良 秋秋 糸糸 白白 糸糸 白白

鹿鳴呼 秋秋 燈燈 萩萩 の 蘭蘭

白白 去去 乃乃 名名 と 桂桂 梗梗 小小 蓮蓮 花花

大大 子子 舟舟 萩萩 上上 風風 男男 郎郎 花花

おとぎ とき 山山 州州 仙仙 坐坐 羽羽 花花 ね ね

茶茶 師師 茶茶 州州 親親 志志 州州 公公 羽羽 茶茶

蓋蓋 母母 茶茶 目目 曇曇 採採 花花 ね ね

蕨蕨 荷荷 花花 冬冬 花花 の 豆豆 垣垣 豆豆

蓮蓮 の 美美 花花 線線 風風 桃桃 の 夏夏

木木 風風 美美 槐槐 の 花花 考考 の 花花

うさぎの 花花 屋屋 子子 葛葛 麻麻 子子

ゴゴ 早早 稻稻 田田 室室 の 子子 花花

新新 綿綿 土土 日日 夏夏 顔顔 花花 の 花花

秋秋 海海 棠棠 虫虫 秋秋 羽羽 蝶蝶

一一 虫虫 松松 虫虫 鈴鈴 虫虫 蚕蚕

ほほ 虫虫 雷雷 虫虫 織織 虫虫

曹曹 虫虫 蝸蝸 螂螂 蟻蟻 蟻蟻 蟻蟻

虫虫 合合 一一 蝶蝶 美美 虫虫 々々 々々

冬冬 蝶蝶 々々 々々 々々 々々 々々

冬冬 蝶蝶 々々 々々 々々 々々 々々

蜻蛉トビ 赤一鬼 一鬼 一鬼

鱒ニジマス 秋は出 一鬼 一鬼

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス 鱒ニジマス

新干瓢 蛸カマクラ 蛸カマクラ 蛸カマクラ

八月 田圃の萩 後出代 二日

白露 天中 一日 村系

サカイ 天神系 二日 百二

おん放 十音 山野系 四音 白野系 四音

敷加賀系 十音 阿野系 十音 阿野系 十音

志加久懐系 十音 曲豆浦系 十音

信伏系 十音 台系 十音 台系 十音

九葉系 十八音 葉系 十八音 死活杖系 十八音

後假名 秋分系 初假名

品畧

秋社戌日 秋奠土卯 秋分

秋田姫神祭 名月十五日

草一十夜有の秋月

小一十四侍者いそよひ

玉一の鏡一の桂一の菊一の交一のまの

品一累一の秋一 星月夜北月

一一氷一 け一の一秋一を一も一小一君一

あ一れ一も一角一 駒一牽一

十四一日一上一野一 月一約一蛇一穴一入

羊一谷一木一原一花一蒲一菊一を一

草一 家一花一を一花一野一芒一

一一の一な一の一一一系一 花一の一身一

檀一持一の一花一は一花一の一月一草一

一一の一花一 葛一 葛一

一一根一 野一菊一 菊一を一付一花一壇一

鳳一仙一花一 鶏一冠一花一 一一朱一紅一

小一の一子一 桔一梗一 一一の一山一盛一心一

葵一花一 後一 画一香一の一矣一

そ一の一の一あ一げ一ひ一 草一の一矣一

冬一瓜一 種一之一へ一年一夢一門一

羊一 唐一の一草一 葛一 菊一 蒲一 菊一 花一 草一

平芋 ツク子イモ 栗餘子 ヌカゴ 菜塘

本紙 ワラ 大根 ダイコン 各種

芥子 カイシ 羊菜 ヨウサイ 芥菜 カイサイ

鬼灯 オニダイ 菜種 サイチュ 芥打 カイダ

鴨 カモ 田 タ 鴨 カモ

芥子 カイシ 品 ヒン 菜種 サイチュ 芥打 カイダ

小魚 コイサ 後 ノチ 鴨 カモ 田 タ

鴨 カモ 田 タ 鴨 カモ

鴨 カモ 田 タ 鴨 カモ

鴨 カモ 田 タ 鴨 カモ

鴨 カモ 田 タ 鴨 カモ

鴨 カモ 田 タ 鴨 カモ

鷄鳴 カキナリ 初雞 ハツケ 江雞 エケ 雞 ケ

川 カハ 小雞 コケ 鹿 カ

初 ハツ 田 タ 毛見 モミ 田 タ 守 シ

稻 イネ 紫 ムラサキ 舟 フネ 千 チ 刈 キ

落穂 オチク 菜山子 サイヤマコ 引板 ヒキイタ

漆水 シヅク 鴨子 カモコ 菜種 サイチュ 芥打 カイダ

栗 クリ 州 シウ 釋 シヤク 芥 カイ 打 ダ

蜀黍 シヤウキ 王蜀黍 オウシヤウキ 風 フウ

溢蚊 ヒヤシ 名 ナ 姑 ハハ 酒 サケ 鴨 カモ 上 ウヘ 戸 ド

牡丹 フタビ 芍 シヤク 菜 サイ 分 ブン 根 ネ 苗 ネ 刈 キ

竹 タケ 切 キ 落 オチ 水 ミヅ 新 アタラシ

竹 タケ 切 キ 落 オチ 水 ミヅ 新 アタラシ

竹 タケ 切 キ 落 オチ 水 ミヅ 新 アタラシ



竹の去 寧府系 九二日ヨリ  
北五日ニテ

西院系 廿日ホサ  
五穀  
神

刈萱 刈カテ かりきと 太刀魚

鶺鴒 ヒナ  
一日多作  
今九月九日  
ヲ用 後の雛

九月 晚秋  
素秋  
亡射  
玄月

長月 系一 ともんら一

祓元 小田刈一 本法一

淨灯 三日 不堪田の巻 七日

桂之相撲 カウシヤスミ  
八日  
山城  
京浦  
金和云

重陽 九日 重九 兼陽 磁石 兼花  
兼のませり

兼合 兼更 兼夜 醒醐系 山城

中書系 くま  
ま  
ま  
ま

生玉系 大夜  
下鳥羽  
兼別

例幣 十日  
住者相撲云  
十三日  
室の市

白川系 後名月 十一夜  
豆名月

栗一 月名張 天守の系 十四日  
二夜の月

岩倉系 十五  
山城  
小倉  
兼前  
兼

栗田系 河月  
神馬神

渡會新堂會 十六日  
兼

山口系 中己年  
防別  
十七日  
兼

美系 十八日  
兼

旗夷系 八幡  
花頭  
城南  
兼

天守 結城 兼 廿二日  
山城

兼系 廿三日  
兼

木幡ユイ 鹿谷シメタニ 蓬發サカサマ 江別エワ

山王山王 福王神福王神 九八日九八日 永安荒神永安荒神

鳴滝鳴滝 池池 榎榎 出出

聖文別聖文別 山城山城 桂川桂川 中後中後

寒霜節寒霜節 雀蛤雀蛤 とらるとらる

菊菊 百夜百夜 中中 ちぎりちぎり 呂界台呂界台

百菊百菊 種種 残葉残葉 十日十日 葉葉

九景袖九景袖 菊重衣菊重衣 紅葉衣紅葉衣

霜降節霜降節 豺豺 歎歎 とあるとある

紅葉紅葉 色色 尺叶尺叶 梅梅 榎榎 赤赤

柿柿 合歡合歡 苦苦 楓楓 白白

夕夕 采采 品品 墨墨 山山 心心 松松



一の一の 久久 久久 久久 松松 銀杏銀杏 井井

木の木の 実実 板板 後後 栗栗 少少 一一

いい ちち まま 推推 一一 采采 一一 拾拾

まま ちち 品品 標標 所所 一一 采采 一一 俵俵

甘甘 菜菜 蜜蜜 柑柑 令令 柑柑 品品

久久 年年 母母 柚柚 味味 噌噌 雲雲 州州 栲栲

依依 子子 棋棋 楹楹 檯檯 奕奕 奕奕

柘柘 榴榴 胡胡 桃桃 榧榧 利利 木木

青青 水水 石石 柘柘 奕奕 標標 山山 空空 雨雨 品品 柘柘 奕奕 標標

榛榛 圓圓 栗栗 蚊蚊 子子 樹樹 栲栲 帆帆

松松 子子 皮皮 子子 掠掠 冥冥 皂皂 莢莢

招招 穀穀 げげ ぞぞ 棟棟 冥冥 榎榎 一一

招招 穀穀 げげ ぞぞ 棟棟 冥冥 榎榎 一一

だもの灸ふ天一梅焼

松茸 珊瑚 野山の恩綿

赤枯 草枯 赤花のころ

若の穂 綿 落のあま草

忍草 リントウ エヤミヤ 忍草の花

低草 ヒゲ草 老母草 菘菜

绿豆 アズキ 二豆引 茸狩

松一推 ノコギリ 平一崩 標狩

針 イロ 一草 一木 一石

品 ヒメ 金一松落 逢稻

糟 シロ 凍寒 ヒヤ 新酒

九五

一朝 小津の鮎 ササ

尾越鴨 網代打 露霜

肌 ハダ 一夜 ヒトヨ 竹一

冷 ヒヤ 霜踏鹿 新徳

念 オモ 初鴨 新蕎麦

後雛 ウチコ 名胃花 秋狩

白粉花 オシロイ 菩提子 佛甲州

冬 フユ をま マシ 秋原 アキハラ 梢秋

秋 アキ を惜 オソ 一々 ヒトヒト 秋 アキ 九月

又條 マタジョウ 大神系 オホカミ 九日 純田系

任右神送 ニウカミ 新米

十月

陽止 押月 良月 應鐘

上 カミ 月 ツキ 時 トキ 辰 ツチ 初 ハジメ 辰 ツチ

更衣一日 孟夏旬、神送、

燻燻、燻糟を喰、

炉炭を煮、海墳、小麦

小六月 亥子餅おん 立夏節

冬冬 射場五音 赤菊真

蓮冬 蓮冬 蓮冬 蓮冬

十夜冬 因縁法 法冬

六日 金毘羅冬 法冬

下冬 東福冬 冬冬

お取越冬 蛭冬 誓冬

大社冬 神冬 神冬 の冬 為冬

神集冬 神送冬 小雪冬 節冬

法勝冬 大冬 宗冬 と冬 燻冬

火冬 燻冬 火冬 燻冬 火冬 燻冬

わ冬 燻冬 燻冬 燻冬 燻冬

初冬 小冬 初冬 小冬 初冬 小冬

霜冬 初冬 霜冬 初冬 霜冬 初冬

落冬 初冬 落冬 初冬 落冬 初冬

柳冬 初冬 柳冬 初冬 柳冬 初冬

芒冬 初冬 芒冬 初冬 芒冬 初冬

葉冬 初冬 葉冬 初冬 葉冬 初冬

茶冬 初冬 茶冬 初冬 茶冬 初冬

冬冬 初冬 冬冬 初冬 冬冬 初冬

藜<sup>シノ</sup>花<sup>ナ</sup> 藤<sup>フジ</sup>菜<sup>ナ</sup> 一<sup>ナ</sup> 大<sup>ナ</sup> 一<sup>ナ</sup>

姜<sup>シヤ</sup>引<sup>キ</sup> 干<sup>カン</sup>菜<sup>サイ</sup> 高<sup>カウ</sup> 麦<sup>マク</sup> 麦<sup>マク</sup> 麦<sup>マク</sup> 麦<sup>マク</sup> 麦<sup>マク</sup> 麦<sup>マク</sup>

麦<sup>マク</sup> 府<sup>フ</sup> 初<sup>シ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 一<sup>ナ</sup> 消<sup>シユウ</sup> 志<sup>シ</sup> 志<sup>シ</sup> 志<sup>シ</sup> 志<sup>シ</sup> 志<sup>シ</sup>

初<sup>シ</sup> 冰<sup>ヒョウ</sup> 待<sup>ダイ</sup> 冰<sup>ヒョウ</sup> 江<sup>カガハ</sup> 江<sup>カガハ</sup> 江<sup>カガハ</sup> 江<sup>カガハ</sup> 江<sup>カガハ</sup> 江<sup>カガハ</sup>

冰<sup>ヒョウ</sup> 莫<sup>バク</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup> 寒<sup>カン</sup>

一<sup>ナ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冰<sup>ヒョウ</sup> 魚<sup>イサ</sup> 使<sup>シ</sup> 御<sup>ミ</sup> 御<sup>ミ</sup> 御<sup>ミ</sup> 御<sup>ミ</sup> 御<sup>ミ</sup> 御<sup>ミ</sup>

夕<sup>セキ</sup> 路<sup>ロ</sup> 一<sup>ナ</sup> 溪<sup>セキ</sup> 一<sup>ナ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 一<sup>ナ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup>

川<sup>カハ</sup> 一<sup>ナ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 一<sup>ナ</sup> 小<sup>コ</sup> 夜<sup>ヤ</sup> 一<sup>ナ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup> 採<sup>サイ</sup>

一<sup>ナ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup> 鴨<sup>カウ</sup>

夜<sup>ヤ</sup> 具<sup>ク</sup> 一<sup>ナ</sup> 生<sup>セイ</sup> 海<sup>カイ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup>

一<sup>ナ</sup> 納<sup>ナク</sup> 豆<sup>トウ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup> 汁<sup>ジュ</sup>

華<sup>カ</sup> 勝<sup>カウ</sup> 一<sup>ナ</sup> 海<sup>カイ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup> 用<sup>ユウ</sup>

一<sup>ナ</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup> 火<sup>カ</sup> 山<sup>サン</sup>

一<sup>ナ</sup> 枝<sup>シ</sup> 池<sup>チ</sup> 田<sup>テン</sup> 一<sup>ナ</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup> 綿<sup>メン</sup>

一<sup>ナ</sup> 紙<sup>シ</sup> 夜<sup>ヤ</sup> 一<sup>ナ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 浦<sup>ウラ</sup>

一<sup>ナ</sup> 頭<sup>トウ</sup> 巾<sup>キン</sup> 一<sup>ナ</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup> 巾<sup>キン</sup>

一<sup>ナ</sup> 冬<sup>トウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 一<sup>ナ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup> 籠<sup>ロウ</sup>

一<sup>ナ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 竿<sup>カン</sup> 初<sup>シ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 竿<sup>カン</sup> 初<sup>シ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 竿<sup>カン</sup> 初<sup>シ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 竿<sup>カン</sup> 初<sup>シ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 竿<sup>カン</sup> 初<sup>シ</sup> 雪<sup>セツ</sup> 竿<sup>カン</sup>

一<sup>ナ</sup> 山<sup>サン</sup> 一<sup>ナ</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup> 山<sup>サン</sup>

一<sup>ナ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 一<sup>ナ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup> 樞<sup>シュ</sup>

一<sup>ナ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 一<sup>ナ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup> 木<sup>キ</sup> 兔<sup>トウ</sup>

一<sup>ナ</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 一<sup>ナ</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup> 冬<sup>トウ</sup> 本<sup>ホン</sup>

十月

後月 陽生 六呂 短景

神宵 新海一軒一書尺

曆奏 日 翔旦冬玉

一陽加布 一線をそふ

履献 襪子 赤豆粥

柳堂系 宗像系 山科

平野系 春日 杜子

高上系 幸川 梅文

富宗系 中山 松尾

大原野系 国韓神

吉里系 狩仗 五郎

殿上の御研 奉安清鏡

新掌會 豊明系

日吉原系 加茂將

東之條系 鎮魂系

黒神系 小忌衣

日蔭系 神系

阿知女 庭燐 採打所

神侃系 大系張

小系張

子威系 星

火燒系 子系

...

...

...

世

吹草集 八日 新得佛堂 十日

之也忌 跡 十日 大匠集 十日

お仙交 十日 歩相月 十日

報恩集 十日 佛堂 十日 春日 病商市

初深雪 十日 雪 十日 葉 十日 佛

雪吹 十日 吹 十日 品界

氷 十日 凍 十日 氷

冬玉集 十日 冬玉集

太公極 十日 葱 十日 鷹狩

狩場 十日 春毛 十日 大

名 十日 名 十日

(九九)

名 十日 名 十日

追名狩 芝居顔目集

初集 十日 初集

鯨突 十日 鯨突

臉輝 十日 雪出

雪車 十日 玉子酒 生姜

室喉梅 緋貫

雪海苔 室喉梅 杜夫魚

茶食 鶉糸 夜分 霜打

腫胡椒 十日 山神糸 十日

掛鳥 十日 鼻啼 十日 室喉

十月

除月 二陽

歳抄 霜蟾

春信月梅初才極レツク四極

乙子習かひり夜忌日出後一日

大神系上卯御忌二日

御新由十月十月七

月次系十一日神今食二日十日

御佛名十九日御由十日

御和親去来童子像立

御發上下卯荷前使十三日

看弦改 内侍所出神御分

御取勝十一日温槽粥八日

御大徳十日御忌十一日

和布川神御分退催御分

鬼御分遍催 爆竹 五條天神系

勝御分の勝 空舟 御分

御り御分の 吉田大枝 御分

厄塚御分の 厄御分 厄御分 厄御分

差御分の 札 小宮御分

御初御分 御初 大宮御分

御始御分 大原野御分 雜御分 候御分

年内御分 玉御分 玉御分

御見 札納 衣御分 配御分 年御分 本御分 樵御分

御掃御分 御掃御分 御掃御分 御掃御分

御季御分 御季御分 御季御分 御季御分



球打キウダツ 星仙セイセン 空垢クウコ 雜ゾリ

冬念仏フユノボツ 一ヒト 一ヒト 一ヒト 造ツクリ の 函ツツ

年トシ 鏡カガミ 年トシ 口クチ され 曆リキ 賣ウツ

曆リキ 来キ 早ハヤ 梅ウメ 臘ラツ 早ハヤ 松マツ 門カド 松マツ

妻ウメ 念ネン 仏ブツ 一ヒト 塔トウ 一ヒト 手テ 臘ラツ 日ヒ

除夜シュヤ 子の終一昔一末一尾 美ミ 一ヒト 除ノゾク 一ヒト 一ヒト 塔トウ 一ヒト

一ヒト 一ヒト 手テ 美ミ 一ヒト 一ヒト 八ヤチ 目メ 鏡カガミ 九ク

箕ヒラキ 腸チウ 舞マユ 取トル 掛カケ 一ヒト 取トル 在在 昔昔 咄トウ

一ヒト 去ク 賣ウツ 一ヒト 著チカ 一ヒト 折オリ 折オリ 昔昔 日ヒ

守モリ 歲サイ 年トシ 仕シ 旦タン 一ヒト 市チ

米コメ 洗シ 孟モウ 字ジ 竹チク 意イ 竹チク 子コ

年トシ 紙シ 伯ハク 又二回の大社

神祇

天テン 戸コ 茅チガハ 負ネ 揮凡 木キ 棟トウ 本ホン

鳥トリ 居イ 玉タマ 垣カキ 神主 板イタ 敷シキ 敷シキ 板イタ 敷シキ 一ヒト

林リン 宜イ 神主 久ク 幸キチ 公コウ 女メ 一ヒト 子コ 社シャ 象ゾウ

長チガハ 官カン 柏カシ 学ガク 水ミヅ 以ヨリ 湯ユ 登ト

板イタ 枕マク 夜ヨ 神カミ 来キ 里リ 一ヒト 神カミ 嚙カ

糸イト 神カミ 中ナカ 火ヒ 燈チウ 庭テイ 燎リウ 一ヒト 祀ヒツ 地チ 火ヒ

燈チウ 庭テイ 便ベン 水ミヅ 木キ 綿ワタ 一ヒト 一ヒト 一ヒト 一ヒト 一ヒト 一ヒト

賽サイ 前マヘ 張チガハ 竹チク 良リョウ 氏シ 系ケイ

生ナマ 祇キ 血忌 打ウチ 火ヒ 燈チウ 一ヒト 神カミ 活カク

洗シ 米コメ 供ケ 注ツク 連レン 東トウ 一ヒト 繩ヒツ 一ヒト 錢セン

神カミ 鑄流コウリウ 神カミ 伴トナリ 水ミヅ  
 神カミ 先マタ 日ヒ 和ワ 申マカシ 零ヒラ 小コ 忘ワスレ 夜ヨ  
 胎マタ 敷シキ 神カミ 意イ 誓チカエ 也ヤ 後ノチ  
 幣ヘ 麻アサ 神カミ 意イ 信シン 宣ノセ  
 爰コゝレ 想ソム 神カミ 圍メ 也ヤ 贖カガミ 物モノ  
 如ニガハシ 忘ワスレ 誓チカエ 言コト 文フミ 起オコ 信シン 放ノケ 生マシ  
 鎮チン 守シユ 廣ヒロ 宗ソウ 竈カマド 拂ハラフ 約ヤク 犬イヌ  
 岩イハ 每スベテ 玉タマ 乙ニギハヤヒ 女メノコ 子コ  
 東ヒガシ 托トカ 摸モ 後ノチ 以ヨリ 白シロ 石イシ 中ナカ 給タマフ  
 神カミ 意イ 神カミ 意イ 唯タダ 一ヒト 宗ソウ 源ゲン  
 受ウケ 社シャ 法ホウ 殿テン 一ヒト 法ホウ 對タイ 神カミ 子コ  
 未ミ 社シャ 祈イノチ 禱イノチ 念ネン 後ノチ 身ミ

西

釈教

佛像ブツゾウ 祖ソ 師シ 門カド 師シ 座ザ 主ヌシ  
 国クニ 師シ 僧ソウ 祿ロク 禪ゼン 師シ 律リツ 師シ  
 長チヤウ 老ラウ 上ジョウ 人ニン 和ワ 尚ジョウ 法ホフ 下ゲ 橋キョウ  
 出デ 家カ 僧ソウ 初ソ 心シン 知チ 儀ギ  
 不フ 化カ 強キヤウ 化カ 定テイ 意イ 義ギ  
 典テン 之シ 書ショ 記キ 行コウ 堂ドウ 阿ア 梨リ  
 檢ケン 校コウ 虛キョ 妄ワウ 僧ソウ 等トウ 身シン  
 日ニチ 牌パイ 仏ブツ 餉コウ 室シツ 戶コ 眠メン 養ヤウ  
 礼レイ 拜バイ 看カン 經キヤウ 度ト 之シ 如ニガハシ 意イ  
 祿ロク 板バン 柶キ 經キヤウ 秘ヒ 密ミツ  
 劉リウ 香キヤウ 六リク 附ブ 和ワ 價ケン 安アン 居ク

江湖傳不ハコト畏オソ从ヨリ橫尾  
 盡トク綰ヒ伸ノ一ヒト居士シヤシヤ衣キ八ハチ德トク  
 十ジュウ法ホウ師シ又マタ法ホウ香カウ納ノウ子シ  
 持チ戒ケイ常ジョウ炷チヤウ一ヒト香カウ珠シュ教キョウ念ネン珠シュ  
 拂フキ子シ坊ホウ後ゴ法ホウ旃テン入ニ道ダウ  
 發ハツ心シン妙法蓮華經比丘ヒク一ヒト尼ニ  
 坊ホウ主シュ坊ホウ沙シャ門モン素ソ一ヒト秋シュ氏シ  
 沙シャ派パイ僧ソウ古コ堂ダウ塔トウ  
 伽カ藍ラン精セイ苑エン方ホウ丈ヂヤウ客キヤク殿テン  
 厨チウ壺フ聖セイ行コウ人ニン伏フツ行コウ脚キョク  
 从シヨク陀ダ加カ教キョウ衣イ衣イ花カ血ケツ輪リン  
 錫シヨク杖チヤウ印イン公コウ不フ儀イ儀イ乃ノウ寺ジ師シ

唱シヤウ食シヤク禪ゼン門モン狎シヤ扣コウ素ソ絡ロク  
 塊クヱ巾キン鈴リン掛ケ令レイ別ベツ杖チヤウ喚ケン鐘シユウ  
 危キ一ヒト鏡キヤウ杆カン鏡キヤウ口コウ木モク奥オウ  
 寔シツ瑠ロ徒ト義ギ滿マン座ザ禪ゼン布フ施シ  
 灌カン頌ソウ施シ餓ガ鬼キ切キヤク德トク因イン果カ  
 地チ獄キョク流リウ轉テン三サン男ナン十ジュウ一ヒト  
 宿シヨク業ギヤク五ゴ山サン引イン導ダウ觀カン念ネン  
 收シウ乃ノウ并ヘイ照時返ヘン善ゼン福フク迴ケイ向コウ  
 身シン向コウ彼ヒ家カ途ト雲ウン其來ライ也ヤ  
 令レイ日ジツ位イ牌パイ平於經六ロク道ダウ  
 聖セイ於オ鷲リウ山サン一ヒト家カ兩リウ伽カ  
 香カウ水スイ三サンのノ車シャ火カ宅チヤク條チョウ鬼キ

桂ふ足 佐公を履の跡名

但師用ひの名 佐ら糸の名

佐経の名 法天

戀

恋 初中後を  
品畧 思情 泪

恨 反 逆 衆 解 入 花

嫁入 花 婚 後 新 枕

若 後 成 傾 珠 白柏子 花女  
花若家との身

花女 たとれ女 一夜妻 花若 一廓  
うれ女 揚衣 之里 花若 終日

お日 ころい くら ちりて  
花若 若娘 湯女 品 悲 以 海 鏡

吸 付 花 名 花  
傾 珠 野 花 名

白 花 たらして  
花若 花 花若

若 原 町 娘 女 妾 あけ  
てり

人 あけ  
てり 念 者 枕 花  
若 花

花 柱 花  
若 花 小 性 後

衣 く 別 の 袖 じり 花

文 品 獨 株 花

門 之 日 神 幼 朱 伴 蓮

人 目 あけ  
てり 見 相 あけ  
てり

新 神 あけ  
てり 色 好 花

名 の 品 妻 あけ  
てり

み 心 竹 品 姿 見 花

占 过 一 灰 一 散 入 秋 比 花

い 名 付 肌 花 妹 悟 花

二公あまの 縁ゆかり 品しよ 化粧けいざう 法ほふ 自みづか 覺あき

白しろ 袷あはせ 袢たもと 丸まる 衾かぶと 口くち 一ひと

又また 孝かう 子こ けしうけしう 又また 多た 衣い

丸まる 額がく 子こ 持も 鼻はな 化くわ 之の 虫むし 牙が

垣かき 見み 斗と 方かた ひひ 道みち 之の 道みち

公こう 中ちゆう 守しゆ の 後ご ひひ 方かた 公こう

初はつ 登と 位い 下げ 侍しやう 者もの 持も 切き

か 切き 侍しやう 者もの 下げ 侍しやう 者もの 持も 切き

り 侍しやう 者もの 下げ 侍しやう 者もの 持も 切き

出で 畢ひつ 唯ただ 謝しゃ 事こと 者もの の 中ちゆう

近ちか 事こと 者もの 下げ 侍しやう 者もの 持も 切き

去こ 事こと 者もの 下げ 侍しやう 者もの 持も 切き

慥たしか 多た 心こころ 綿わた 本もと 多た 加か 之の

浴よく 巾きん 麻あ 云い 湯ゆ 具ぐ 二布 下した

身み 乃の 之の 髪かみ の 法ほふ 乃の 之の

述懐

生なま 死し 於お 身み 憂うれ 一ひと 汲ひ 家か

命いのち 白しろ 髮かみ かみらのち 世よ かみらのち 世よ

浪なみ 人ひと 新あらた 衰しやう 齡らう 替か 替か 女によ

床とこ 次つぎ 乞こ 食く く 苦く 夜よ 家か 家か 庵あん

無な 事こと 家か 賣う 摺す 切き 分ぶん 負ふ

病やまひ 不ふ 使し 之の 身み 骨ほね 住すま

持も 病やまひ 骨ほね 寒さむ 分ぶん 姑はは 濕しづ 垢あか

初はつ 登と 位い 下げ 侍しやう 者もの 持も 切き

無調法之仕アサミレ仕シ法ホウ精シユ

寡シラカ落ル不レ孝コウ不レ敏ミン一ニ便ベニ

世捨セ人ニ孤コ老ロウ品ヒン具ク日ニ已シ

年ネン長チヤウ姓セイ後ゴ家カ墨シク法ホウ

賣ウ食シキ世セ常チヤウ世セ後ゴ

懷日

昔シヤク風フウ蕭シヤウ古コ名ナ附フ故コ心シン

來キ方ホウ思シ遠エン忘ワウ忘ワウ日ニ廟ミヤウ系ケイ

少シヤウ願ガン月ゲツ忘ワウ昔シヤク人ニ一ニ終シユウ

一ニ世セ常チヤウ表ヒヤウ傷シヤウ

死シ人ニ力リキ落ラク棺カン一ニ人ニ

紀念キニエン名ナ邊ヘン野ノ每ヘ念ニのノりリちチ

死シ生シヤウのノ心シン後ゴ法ホウ一ニ途ト

黃ワウ泉セン白ハク骨コツ屍シ冥メイ途ト

人ニ魂コン車シャ切キ堅ケン尸シ在ゼイ

枕シヤン食シキ之シ酒シユ骨コツ接ケツ骨コツ

好コウ色シキ送ソウ葬ソウ孔コウ墓ボ塚ツカ

半ハン九クのノ餅ヒヤウ幽ユウ冥メイ中チュウ陰イン

火カ葬ソウ患ワン十シユウ方ホウ夫フ

淚レイ發ハツ切キ長チヤウ別ベツ服フクの内ノ

喪ソウ終シュウ一ニ登トウ作サク服フク之シ衣イ

辭ジ世セ送ソウ寫シャ附フ曰イハレ枕シヤン一ニ衣イ

山類

山サン岑セン嶽トク岡コウ岡コウ坦タン的テキ

谷坂峠尾上傍高根

滝嶋林麓横杜木一人

炭竈浮橋小橋小橋

山姥山曉山多山泉

松崎九折畑初瀬

入山社山崎音島城山熟

山山崎園音島白川不取柴刈

麻の芦一物

水邊

海浦濱堤沖灘洲

瀬江添汀渚島岸

磯崎川池洲流品泉

井溝津汐沼浪沼

流津の磯一物舟品

橋代釣貝品塩津

浮木舟釣籠下橋

見浮桶壺舟和舟

海苔類舟海士舟舟

舟舟品舟品舟舟

魚籠の籠舟宮守舟格舟

舟舟後舟舟舟舟

深木舟舟舟舟舟舟

深と燈舟杜舟深舟蓮

芦舟濱舟舟舟舟

美薦葦葦三坪八坪

後水冰魚田井山崎

綴車井水主徳久人

灣三平樂住三平

清見寺志

粟津浪一松二嶋

岩指波浦浦

水車落川橋

細代鶴細打

居所

家品門卷戸窓戸庇

扉障子格子襖宿

廠樓宅玄園庵屋根

軒麻棟梁屋二一名

カリヤノ類魚一低一柄一ノ類

薨城天守屋取亭

書院品床帳内棚一

店二階一一炉落水石

固敷券石臺標千石石

基所園炉裡庭廊下

椽竹一板一鴨井編戸

枝折揚簀茶石揚石旗石

木債宿湯敷風石一側

雪邊部石納戸度間



詰る何の間と名を以て  
天并火燈 蝦蟇魚 スダレ  
水之番所  
築地垣溝 築礎柱  
すのこ 卒

人倫

重人 殿之武士侍長  
師の字に侍る人倫 醫師  
仏師 鑄物師 一 儒者  
者の字に使者妻一僧  
仏師 農人 若し商人  
町人 職人品 番匠 塗

九

伶人 藝者 猿也 公羽

童姥 伯宗 子 六人 出 妻

下初 漁翁 舟人 水手 獵人

主 身 我 汝 婿 維

兄弟 姉妹 海士 民 蝦 園 寺

乳母 人 牧人 畜畜 匠 徒

推 父 醫 匠 被 習 女 匠 及

奴婢 祢 豆 神 主 若 君

下 下 長 衣 親 子 妻

妻 妾 伯 父 伯母 祖父 祖母

男 姑 娘 姪 孫 兒 尉  
後 家 水 母 能 之 是 仕 下

治部傾城白柏子 湯女

控女男女内義乃公云

原近友達唱食日着

新教名博士指与舟長

軍塚孰並法神和

河原後天無賊 聖賢の名

巫竊ホウリ

○夕名所 弄續名所

二字 かきの教を修く

須广字治儀家本号

由良之稱之徳之升

依保之海夷エテ官里不坡

四十

八瀬比叡比良依野

安福御仿安倍久世

美野家井子菴田渡

野洲園柄字依如茂

加古美間本傳武依

武庫去生巨勢長陽

猪名高名如智子賀

志賀与耐鳥羽十荷

小野頼丹生岩田藤

曾根壬生田井田子

二字

小野美奈孫船石名兼願

平野 愛宕伏見松井  
 法見水号三上法昌  
 鳴尾 穴師 児嶋 吹飯  
 信太 入間 根来 本幡  
 二見 増井 熱田 日吉  
 鈴鹿 鞍馬 宇野 菟江  
 松浦 寂上 安達 金澤  
 内野 長柄 鳴海 家持  
 有る 宇留 馬 難波 鳴門  
 舟井 矢橋 芦屋 荒井  
 津輕 梅津 上田 津守  
 筑波 筑广 高橋 善井

長野 横川 吉田 竜田  
 玉江 桂物 香葛 城 榎  
 羽黒 春日 幸舟 龍洲  
 江 銚子 河口 津 文野  
 佐伯 竹田 如古 倉 敦盛  
 高野 麻橋 堅田 吉野  
 重井 香椎 志保 雄勝  
 小塩 常盤 三 維 瀨 島 辺  
 豊浦 日理 十市 十 総  
 二室 網 江 堀 江 泊 瀬  
 穴室 室野 高輪 栗津  
 菊池 神田 紙 八坂

舊松樹及伴約生田  
六原那波野嘉松伴  
中由生野今木入野  
富山信文味野八橋  
秋支池穀野結珠忘  
仔丹 久後田關鷄野  
四字  
象野本流室法流文川  
山積野宗野住古足柄  
菊川右右野并河并并  
由長門多後河系松尾  
松島荒塚田八橋大原

三

山射山度沢那流友原  
阿壘野船屋山科 山井  
久野積沢吹上真井  
大破 草妻野友代更汲  
野友守山路坂松山  
黒塚大寫山邊野上  
系天江栗柄野秋原奈  
九重山野後長溪朝妻  
鳴滝軍傍武藏野席田  
玉井玉川浮寫浦流  
高槻玉徳月輪漆川  
高園牧方高安竹川

高濱高破鎌倉川等  
 座傍葛城神宮カミヤ飯沼川  
 乃云神宮志井度會  
 神傍姨捨小井井乙川  
 堀川利根川白川新傍  
 志井一湯赤坂長云  
 岩代白山イハノ依赤石山  
 笠五限野原一黒谷  
 徳村トクムラ追分シモツケ坂本  
 新川ニク房傍山傍  
 吉云牛窓米沢云傍  
 戸邊多取ヒロキ生玉

三三〇

梅尾ウメノ醒井ウツノ太秦園寺  
 流井志津系谷汲  
 又字

櫻川サクラ嵐山安徳キナセ本坊  
 本坊山ホノ美奈川松傍津川  
 角田大江ツノ磁原シハラ石山  
 氷室山ヒツム夜川ヨ志山シ三子山  
 栢崎山カシ阿里ア里リ壁ヒ油ユ山  
 志根川シネ之上山ノ志奈川シナ傍山  
 苏河スガ位山イ大井川オホ暗ク神山  
 鳥ツ呼ヒ浦ウ字ジ津山ツ梅ウメ又マタ志シ野山  
 志其川シ経ツ志シ志シ野山ノ男山ヲ

三三〇

武庫浦 漆川 思川 名川

那古海 浜川 之 浪川 有 櫛川

石之 志志云 志志 志志 志志 志志

余古浦 曾我里 田茂浦

紙谷川 神奈岡 之 西云 志志

志造 竹里 志志 志志 志志 志志

靈山 稻荷 志志 朝日 志志 志志

美浦 志志 志志 志志 志志 志志

鏡云 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

羽来云 泉川 石 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

市原野

六字

本丸 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

志志 志志 志志 志志 志志 志志

須依江山聚々露橋里整  
 黒嶺大塚十内山老真在  
 井出濱陪殿オモイ室給子後  
 雙固赤毛柱長蒲眼表  
 被流一山七の社赤草園  
 袖漆は田細日月傍袖後  
 小室香登脚金邊露霞  
 形乃浦和里傍加後山  
 音高山立取山雄塚里着山  
 小倉嶺富清川細谷赤霞  
 かしらトシノマキ見見ミル鐘邊  
 比々奇の淵

七字

赤の松山依夜中ハナ海傍立  
 天香久山カミ海中乃真海傍山  
 所去松系山梨志久米山  
 有明山夜子社殿清乃  
 野中法乃赤久山生松  
 野湯藤原浦初給出山  
 刈草園凡越家古寺滝  
 布引流子代乃一松系  
 子背地電花垣里将園  
 鐙針作無耶之園  
 あま松系

○懷紙之句法月元 定座

百韻 四折

表八分七目 重卷四九月月 十二花

二ヲ十四十月目 月秋 今之四九月月 十二花

二ヲ十四日新 今之四日新

八儀卷四日新 各分七月目 花

五十員 二折

百員一二之折

四十四 二折 世吉 花

月初折各分折合

源氏 二折

表寫又目 月 二七月目 十一花

二ヲ十二十月目 月秋 二十月目 十一花

名十二十月目 月秋 名之 五月花

歌仙 二折

源氏中折除

七十二候 二折 考作

百員中折除

長款 二折 日新

表分十月目 二九月月 十五花

二ヲ十六十月目 月秋 二七月目 七花

短弁 二折 日新

表寫 二十月目 七月目 七花

二ヲ八十月目 月 二七月目 七花



八十八真

新米 守り作  
其真作

表八分

七白  
ウ十二  
十一花

二ラ十二

十一  
二ラ十二  
十一花

名十一

十一  
ナウ八  
七白  
花

籠 二折

日

表八分

二白  
文八  
七白  
目  
目  
目  
目

名八

七白  
月秋  
名五  
七白  
目  
花

廿八宿 二折

日

表八分

八白  
目  
裡  
七白  
目  
花

名八

七白  
月秋  
名五  
七白  
目  
花

首尾吟 百頁

表八分

七白  
月  
ウ八  
七白  
花

(四七)

奇伝首尾

表八分

五白  
ウ六  
五白  
花

表合

八分表

六分表  
法  
法  
法  
法

但神祇伝下巻とていふは、  
通門の直掾所附の類にて、  
是れ秋、是れ百頁とて古く  
仕立付き、是れ與ふるべし  
とて、表及接法とていふは、  
わい

三ツお

とて、其れをいふに、  
傳、其事ありを、  
の、そのく、  
りひ、

本式百頁 四折

初草

名残裏  
花

余の今の言負小同一の教あり  
然る古式をて用表十白小可判との  
限るる界且奉納實りてき  
其の経緯もてまおむはあり  
今時好む事小あり程ど  
要記す

○切字 古人の書言  
多々んい暮之

嵐雪問 蕉公羽答 切字之

野坡問 切字之

支考問 切字之

惟松問 切字之

去來問 切字之

素堂問 そた多  
切字

右同答ラ以て切字の本名をて名はけ  
小同人ありしはしをて以て其人  
の名を見えたりとのりしんが  
こ小異と

○詔 諧大旨 書按

一 天地之愛易者和歌之風魂

也 万物知理定格事出漆而

忘理離格可得能神事

當門之第一也

一 後句附合小不限は事

遠い子小さるは之も下

有用心子肝要あり

一 委伸新心とて轉り身て

蕉公羽の巻戒小能活席

小居く法をてさくはるく

門人としてたらく

一 去娘の古人の法小僧にて

今日の桃傳小松小僧

○ 及段白新古之辨

天 古 旧一故向を  
似くまひ

多しりの公平お流るる様か

は信曰もまりの公平小松の礼の  
と流るるい夫然るも今も  
備へ上は八うやうの場を  
去りて去新と

人 中比

赤松 暖やも守守の鹿

は信曰もまりの公平小松の礼の  
台の自然も場をぬけて  
守守の鹿と伝名と加へる  
世の人多くは場を

地 今ハ



多しりの折を成り様か

きいよをそあさ場を  
手想もまりの公平小松の  
去りも終く人の耳ふ入る  
をなするはたかぬか  
はけと白と礎とく  
他自在の世に  
一受して今の流り  
一受りて今も  
さういふは  
とら

附合 七品 七情

飽場 樂

うさゝの白米のけ  
め 中舎ふまの  
飽場  
か

外口 悪

門行の家よ松こ  
娘より日伯母の

門ありを欲の有とらざるを  
とらざるを欲とす

苦カ 哀アハレ

かつらと一いつたをわが親愛  
事付くをわが親愛のり  
苦いこととらざる

念ネン 欲ヨク

歩りて行ふ目ゆるの境の風景  
知る事とらざるをわが親愛のり  
全無の時とらざる

餘取ヨリトリ 喜ヨロコビ

織布の初にほとほふこと天  
みのゆるふたを風はの備  
余りたる場は中よりわて一  
白の髪をてまもる

欺アソビ 怒イカリ

大小さして杖突てある  
世居る人をして侮む世の中

世の中く希日をあきらむる  
あきらむるを希むる

實マコト 愛アヒ

本やと流ふをうりたるあり  
なまの字流ふ一人をて  
あきらむるを希むるを  
希むるのくれば場

○七要

一 父母の我胸中をわらわ  
をましくく好む捨は  
その後二もまへ一をを純  
信の神とあらば

一 附るの九一四を初てより十四折  
をわらわ其後純信の神をま  
一 大京信おホ一字の力を千金の  
後とりてあらば

一 兼目二又兼目三のたのむ其  
理ふらむむらむらむ  
一 さらぬまは田舎其其  
とらざる

一 祖父母伯父母嫁は  
後分聲は身よのむらむらむ

てはふりては捨る事ゆい  
うらむ

まねの字このまてとま  
まてとまをうらむはゆい

○去嫌之和奇

衣子や竹田の身は長き  
月松まろく相ひ白く

月一文字伸紙尺まねま  
夜分付かこりてまよ

山形小まひをね共不  
本く末茶おくこりま

まろく魚魚く歌まの虫  
支作まろくこりま

まろく虫出とけまの相  
本く州と竹まろく二

天系又は年除まの人  
名所玉の名まも二

天系八月日星まら  
度まま方けまろく

風作又大伴二子後  
毎まろくま三白ま

鬼女を流振の千白  
おりてままろく一

（五）

まろくの提いあはれ  
まろくゆりのあつら

余畧

○詠諸論語二回答

長春江南は生庵小  
門人作くまの梅ま

名ままへ得くゆら  
のまを方まらま

かまばやと接ぬま  
ままひて

○出羽 芦錐向て日  
あまろくまゆはま

いまま羽まへて温  
まろくまろくま

ゆまままろくま  
まろくま

○冬 後馬貞人向て  
風情まろくま

一白の君子裏ま  
まろくま

まろくまろくま  
まろくま

寧侯まろくま  
まろくま

○梅延の神を向せしめ各  
曰不易流りて日向のあまを  
あてし獲れしをかくくつ  
て雞を先うし獲てこと後  
小と既よ一氣ありつるおそ  
具他神きりとあへん

○凡五回て曰依えの二丈  
つて存りり人きりしをえん  
あか再世は可きん必山の  
をあらはしん

○叔旭回て曰はるるの  
あて我あうしむの化をえん  
つるもがせしめを曰其位  
よめしんれ其故を不保能  
ありてらる我あうしむを  
くくくくくくくくく

○山灰子回て曰我門の能得  
勢うて曲るるをえんやあ他  
門よりゆるるもあうしむを  
もあうしむりやせしめをえん  
半のあうしむをえんやあ他  
を棄しととくじ能得の  
維樂をえんやあ



○長門國押回て曰云席の  
一府出術小むをえんやあ  
捨るべきや生るるをえん  
くははかしくれをえんやあ  
くくくくくくくくく

○おれそれ一丈回て曰人能  
くれ必一解ありはるるをえん  
他神を吐くはるるをえん  
いつまをえんやあをえん  
白のを見しめをえんやあ

○おれそれ一丈回て曰能得  
身行ありしむをえんやあ  
明をえんやあをえんやあ  
のてあ人のまをえんやあ  
今うのまをえんやあ

○おれそれ一丈回て曰能得  
捨る法をえんやあをえん  
はるるをえんやあをえん  
いさひしんをえんやあ  
敷るよ本のまをえんやあ

○答友月問て曰きぬいひの  
 名跡をとりて上まじりて  
 せざるを曰我門に唯二以貫  
 一を備せしめぬせざるを曰川  
 上小川の流をせざるを曰夜  
 を不舎百餘ふちと逝るの  
 はるかくのいへくひんか  
 あり

け十二回言ひ其日のあつた  
 梅徒等とてつてありのはよ  
 ちるこころのこ

○附録

私曰古人はさよおがゆいん各  
 改りて記さる具とていんおま  
 の先後は速或る名目のまじ  
 或る後字は後のあやまり教を  
 老とて教を改りて都るはつと  
 らぬ初心のあはれ其後す昔  
 の人すもあつらんや深根のすり  
 かりんや折るいあつるのゆを勝り

とせとてあつる教をさしその  
 あつて我々のあつるわい吉能其  
 流をゆりて或る蕉門のなすひ  
 秘傳をさくわつてすその秘  
 伝てゆりて古人のまじりあ  
 らど蕉公羽の正日とてあま  
 とてあつる其流のまじりま  
 を本まじりてとわれはむら  
 うまじりて捨ててあつるまじり  
 多る秘傳は俗本のまじりは  
 秘傳をさくわつてあつるまじり  
 其人のわりの功不功の位  
 ふよりて免るまじりあつる多  
 多れは一向のまじりあつるまじり  
 独くは雲雷の功をばんぞ  
 正なるまじりあつるまじり  
 強くは微細の功をばんぞ  
 其流はまじりあつるまじり  
 宿へまじりあつるまじり  
 わりとも見えあつるまじり  
 の面白くまじりあつるまじり  
 とてあつるまじりあつるまじり  
 規矩をさくまじりあつるまじり  
 といふわい其流のまじりあつる







